

# 若し、「二段階投票」で選挙が行われてたら。 仮事例B：普選2回

「パワハラ疑惑→不信任→失職」知事の復活を阻止する為に必要だった方法と要件を例示。

「前知事(今回当選)+反N党首」以外の候補者に投票の分が「第二段階」にて「反・前知事」に集まる場合。

★「NHKから国民を守る党」(反N党)の党首は今回選挙時、自身が候補者と成るも前知事の応援を公言していた為、彼が実際の選挙で得た票数を前知事の票数に加算の上で「第二段階」に反映させてある。

## 兵庫県知事選挙

第一段階執行：2024年（令和6年）11月17日(日)

第一段階：普通選挙

有効投票率 . 5523

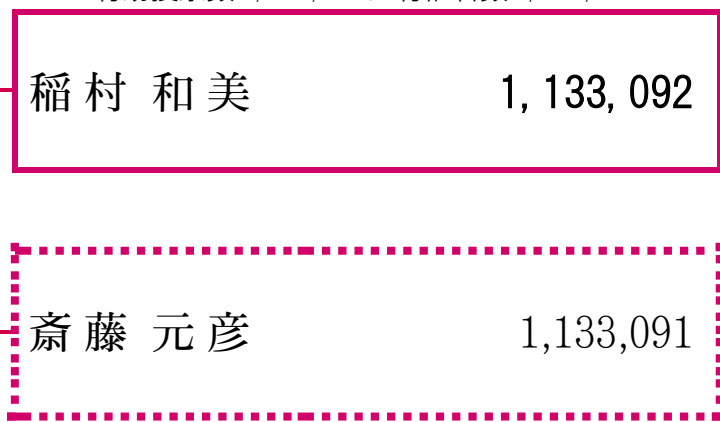
有効投票数 2,463,813 / 有権者数 4,461,091

第二段階：普通選挙(第一段階の上位2候補に拠る決選投票)

有効投票率 . 5080

有効投票数 2,266,183 / 有権者数 4,461,091

清水 貴之	258,388
稲村 和美	976,637
斎藤 元彦	1,113,911
大澤 芳清	73,862
福本 繁幸	12,721
立花 孝志 ★(反N党首)	19,180
木島 洋嗣	9,114



稲村 和美  
兵庫県知事